

在宅療養の実際を経験しての学び

- 社会資源を活用するための制度やシステム(どの職種が、どのような役割を担うのか)
- そのシステムをどう活用するのか、在宅での多職種連携の実際
- タイミングを逃さない介入が大事になってくること
- 在宅療養を継続するためには、まずは自助の力を伸ばす関りが必要！
- 利用者や家族が納得しなければ、サービスの導入はできないジレンマ
→利用者が真に求めているものはなにか、考えを深める機会となった
- 創意工夫しながら、その環境の中で利用者にあったケア方法を考える